

⑦4 令和元年台風第15号、第19号及び低気圧の接近による大雨におけるTEC-FORCEの自治体支援活動

授賞機関 国土交通省、国土交通省 東北地方整備局、国土交通省 関東地方整備局、国土交通省 北陸地方整備局、国土交通省 国土技術政策総合研究所、国土交通省 国土地理院、国土交通省 北海道開発局、国土交通省 中部地方整備局、国土交通省 近畿地方整備局、国土交通省 中国地方整備局、国土交通省 四国地方整備局、国土交通省 九州地方整備局、内閣府 沖縄総合事務局、国立研究開発法人 土木研究所、気象庁

キーワード 広域災害、長期の支援活動、早期復旧

全建賞審査委員会の評価ポイント

令和元年台風第15号、第19号等における、TEC-FORCEによる被災状況調査や土砂撤去、避難勧告発令への助言、緊急物資の輸送等の自治体への支援活動。被災した自治体への長期に渡る広域的な支援により、復旧作業の迅速化、被災者の保護などに大きく貢献している点が評価された。

1. はじめに

令和元年9月の台風15号では、千葉県を中心に最大で約934,900戸の停電や住宅被害、547箇所が道路が通行止めとなるなど大きな被害が発生した。また、同年10月の台風19号及びその後の低気圧による大雨では、関東地方整備局管内において、国管理河川の4河川9箇所、県管理河川の19河川35箇所が決壊し、315件の土砂災害が発生するとともに、284区間（高速道路、国及び都県政令市管理）の道路が通行止めとなった。一方、東北地方整備局管内では、国管理河川の2河川2箇所、県管理河川の85箇所が決壊、28区間191km（高速道路、直轄道路）の道路が通行止めとなった。更には、北陸地方整備局管内において、新潟県と長野県の3水系8河川9箇所が堤防が決壊し、新潟県と長野県を中心に105件の土砂災害が発生するなど、各地で大きな被害が発生した。これら2つの台風等による災害においては、発災直後から全国のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が集結し、様々な活動を通じて被災自治体の支援を実施した。

2. 事業の概要

台風15号により被災した1県28市11町1村に対して、371人（のべ988人・日）のTEC-FORCE（リエゾン含む）を派遣し、防災ヘリによる被災状況調査、関係機関と連携した倒木除去支援、ブルーシート等の物資支援、散水車による給水支援、船舶による緊急物資の輸送や入浴支援等を実施した。また、台風19号及びその後の低気圧の大雨により被災した関東地方整備局管内8都県106市46町9村に対し、619名（のべ12,487人・日）、東北地方整備局管内5県24市17町8村に対し、1,053名（のべ5,214人・日）、北陸地方整備局管内4県15市7町2村の自治体に対して、187人（のべ863人・日）のTEC-FORCE（リエゾン含む）を派遣し、被災状況調査、浸水エリアの緊急排水、道路啓開、河川土砂撤去、建設資材・機械の支援等を実施した。



【宮城県丸森町】高度技術指導班（道路）による現地調査状況

3. 事業の成果

台風第15号では、主に千葉県内の自治体へ派遣したTEC-FORCE（リエゾン含む）は、約1ヶ月の長期にわたり活動し、建設業協会等と連携した物資支援（ブルーシート、土のう袋等）等を行い、被災地の早期復旧に貢献した。

また、台風第19号では、東北・関東・北陸地方整備局管内の自治体に派遣したTEC-FORCE（リエゾン含む）は、2ヶ月以上の長期にわたる活動で、24時間体制での緊急排水による各地の浸水被害解消やICT技術（ドローン等）を活用した迅速な調査等により激甚災害指定、被災地域の復旧作業の加速化、二次災害の防止、被災者の保護に貢献し、自治体首長等から高い評価を頂いている。



【宮城県大崎市】排水ポンプ車による24時間体制での緊急排水

4. おわりに

近年、災害の頻発・激甚化に伴い、TEC-FORCEの派遣回数増加に加え、求められる役割が多様化・高度化している中で、地方自治体の要請に応えるべく、技術力・対応能力の向上に、引き続き、全力で取り組んで行く所存である。